

平成 28 年度 第 2 回学校協議会

日時：平成 28 年 11 月 10 日（木）15 時 30 分～17 時 00 分

場所：本校別館 2 階 右ふれあい教室

内容：1 校長挨拶

2 出席者紹介

3 本校の取り組み状況について(報告)

- ・ 教務部 平成 29 年度使用教科書等
 - ・ 生徒指導部
 - ・ 進路指導部
 - ・ 保健部
 - ・ 総務部 学校説明会
 - ・ 首席
 - ・ 第 1 学年
 - ・ 第 2 学年
 - ・ 第 3 学年
- 4 協議
- 5 校長挨拶
- 6 諸連絡

協議内容

生徒指導部

遅刻指導について

- ・「振り返りシート」の具体的な記述内容について
- ・ 社会に出たときにこのままではどうなるのか、ということや仕事をするうえで遅刻や欠席が個人の問題ではなくチーム全体に影響を与えるという側面について指導が大切である。
- ・「振り返りシート」は生徒個人の振り返りに有効であり、生徒が実践を通して自分で考えるという「生きる力」の育成につながる。しかし、生徒指導をする上では、教員は遅刻の理由をより詳細にカテゴライズをし、整理していく必要がある。遅刻の傾向を見てパターン化（分類）をはかり、それに応じた対処方法を決めることで細やかな指導の実践につなげることができる

総務部

HPについて

- ・アクセス解析により、HPがどのような電子機器からのアクセスが多いかを知ること、閲覧する人のニーズに応えたHPを作ることができる。

進路指導部

進路ガイダンス後の教員分析会について

- ・具体的にどのような会なのか。

→本校生徒のテストからわかる特徴・傾向を知り、学力向上のための方針立てや授業改善につなげるためのデータ分析会。実力テスト、模擬試験の後にベネッセの方に講演を依頼している。

保健部

食育研究班の活動について

- ・具体的にどのような活動を行っているか。そのねらいは？

→食育研究班では、畑・農業体験を通して収穫物の栄養価を調べたり、それらを実際に収穫・調理し、パンフレットを作成して、実食したりするという体験活動をしている。それらの活動を、生徒が自ら行うことを通して、食がおろそかになりがちな生徒に食事の大切さを学ばせるとともに、地域の方々とのつながりを深めようとしている。

学年団

1年生のコース選択について

- ・希望人数は、想定どおりか。

→予想より若干少なめであったが、生徒たちがやりたいことを選んだということを尊重し、教員は責任を持って彼らが希望する進路にいけるように努力していく。

国際交流について

- ・生徒の自宅がホストファミリーとして留学生を受け入れたのか。

→受け入れる留学生の人数よりも応募した生徒の人数のほうが多かったため、保護者同伴での英語と日本語の面接を行い審査した。来年度のカナダ留学を視野に入れて希望した生徒も多く、留学生が帰国した後、学習意欲の向上が見て取れた。

→留学生の歓送迎会や、フェアウェルパーティーでは、本校生徒が上手な英語でスピーチをするなど生徒主体での活動が多く見受けられ、留学生との交流を通して成長を感じられた。